



国際セミナー

ウズベキスタンの考古遺物の 保存と公開に向けた取り組み

日時：2023年10月10日（火）13:30～16:30

場所：名古屋大学 東山キャンパス

文系総合館7階 カンファレンスホール

プログラム（開場 13:00）

13:30 開会挨拶：名古屋大学 梶原義実

13:35 「ウズベキスタン南部ザールテパ遺跡出土壁画について」
影山悦子（名古屋大学）

14:05 「サマルカンド南東カフィル・カラ遺跡の発掘調査と
出土遺構の保存・活用」 寺村裕史（国立民族学博物館）

14:45 休憩

15:00 「壁画と木彫の保存修復：ザールテパ遺跡、カフィル・カラ遺跡、
アフラシアブ遺跡出土遺物を中心に」（ロシア語）

Marina Reutova（ウズベキスタン 考古学研究所）

16:30 閉会

※ロシア語の報告には逐次通訳が付きます。



壁画の保存修復作業



カフィル・カラ遺跡の覆屋

主催：名古屋大学最先端国際研究ユニット「文化遺産と交流史のアジア共創研究ユニット」／サマルカンド考古学研究所／名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学術センター

共催：科研費基盤研究(C)「新出資料によるウズベキスタン南部ファヤズテパ遺跡出土壁画の再検討」（研究代表者：影山悦子）20K00185／科研費基盤研究(B)「シルクロード都市における宗教の伝播と受容・変容に関する考古学的研究」（研究代表者：寺村裕史）23H00703／科研費基盤研究(B)「『アジア化する仏教美術』に関する総合的研究」（研究代表者：森雅秀）23H00581

○ファヤズテパ遺跡出土壁画の保存修復は住友財団と文化財保護・芸術研究助成財団の助成を受けて実施しました。ザールテパ遺跡出土壁画の保存修復は住友財団の助成を受けて実施しています。

アクセス：名古屋大学 東山キャンパス 文系総合館7階

地下鉄 名城線「名古屋大学駅」下車、1番出口から徒歩5分

▶名古屋大学駅まで



▶名古屋大学駅から文系総合館まで

②名古屋大学 文系総合館

①名古屋大学駅 1番出口



会場：文系総合館 7階 カンファレンスホール